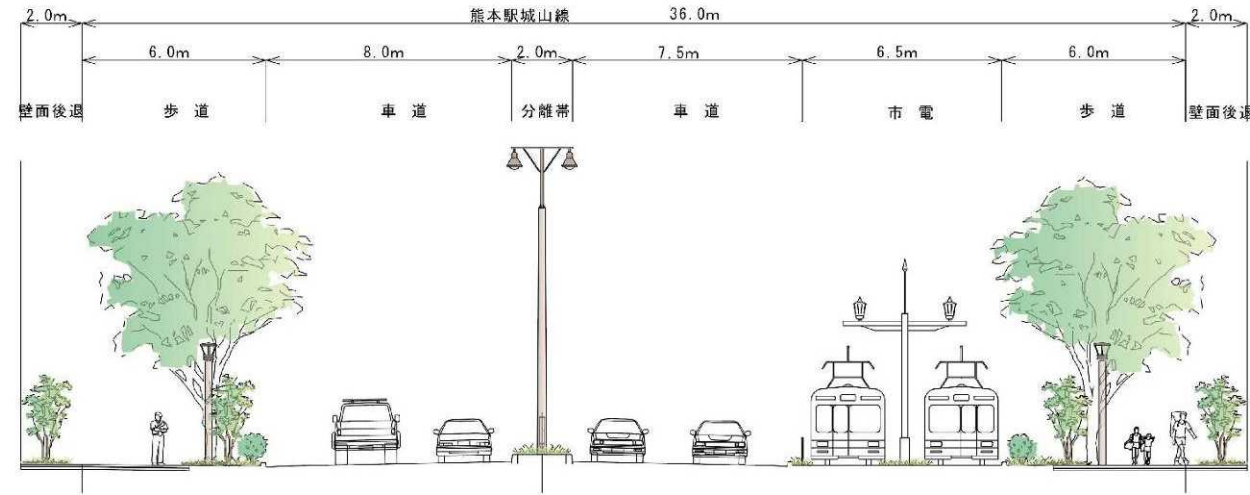
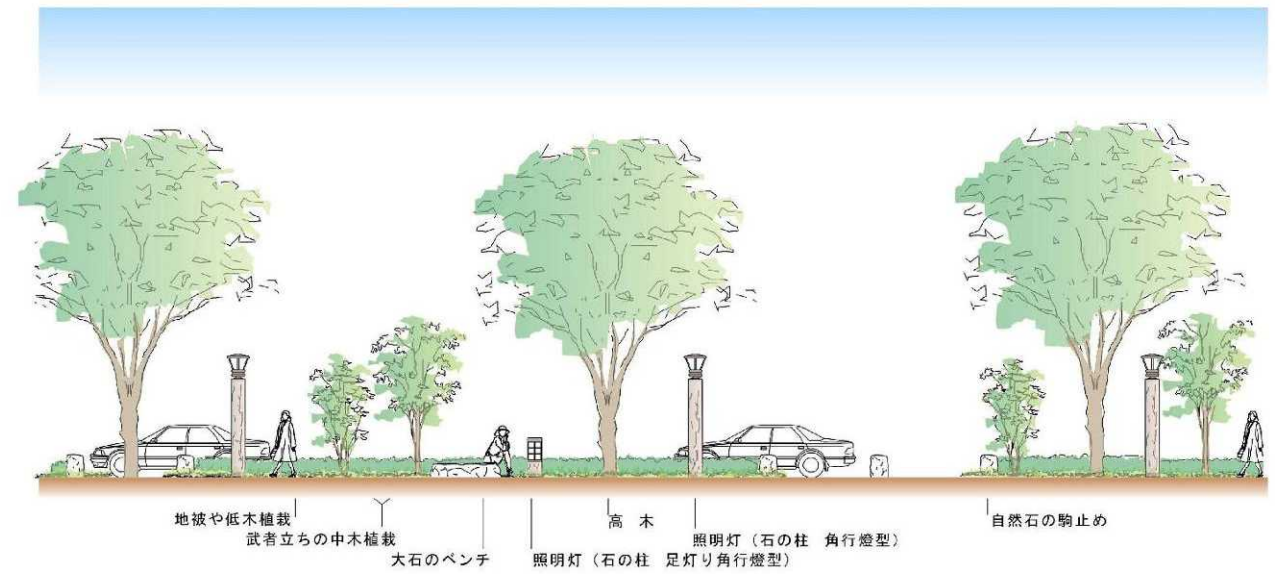


# 森のまちのデザインイメージ

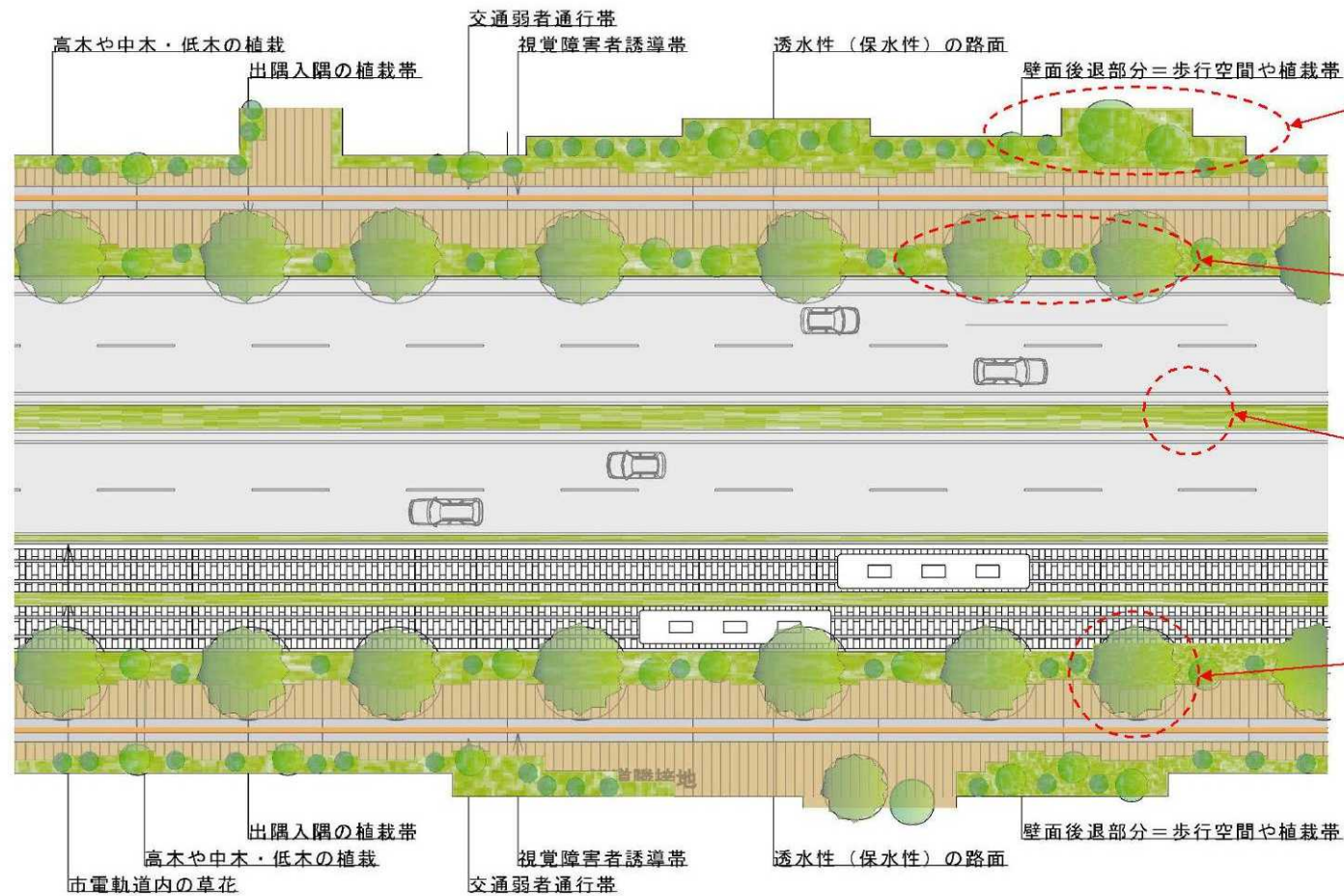
## ■断面構成のイメージ



## 立面構成のイメージ



## 平面構成イメージ



### ■出隅入隅による平面的な抑揚を備えた園路のような歩道デザイン

- ・歩道と沿道敷地が一体となった園路を構成。
- ・森の園路のような、心地よい散策にも似合う、味わいのある路のデザイン。
- ・歩道植栽帯や民地内部分の外構等に出隅入隅を取組むことで、視覚的な変化や空間的な抑揚を構成。

### ■植栽と照明による立体的な抑揚を備えた施設配置デザイン

- ・高木、中木、低木、地被植物による様々な植栽と、石材による高さの異なる歩道照明及びベンチ等をバランス良く配置することで、立体的な抑揚（空間的な変化）を構成。

### ■照明街具のデザイン

- ・県都の表通りとして、風格や重厚感を感じさせるデザイン。
- ・吊り下げ式の行灯のような車道灯、ガス灯のような街路灯、市電の灯具、3つの施設共に風格や重厚感、歴史の積み重ねが感じられるような共通デザイン。

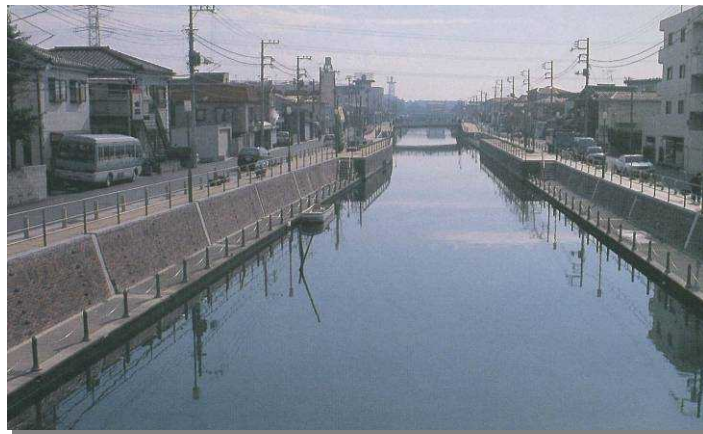
### ■緑化のデザイン

- ・熊本駅城山線と北部線は、一筆の街路として同種の樹木による並木を形成。
- ・枝張りの良い、緑被面積の豊かな樹形。
- ・等間隔の高木配置と共に、中木、低木をバランス良く適所に配置することにより、空間に抑揚感を形成。

## 水辺（坪井川・白川）の利活用イメージ

### 水辺の小径

- ・坪井川の水辺空間を利用した回遊性を高め、心の安らぎを与える散策路
- ・坪井川の眺めを題材として、眺めながら歩く親水空間



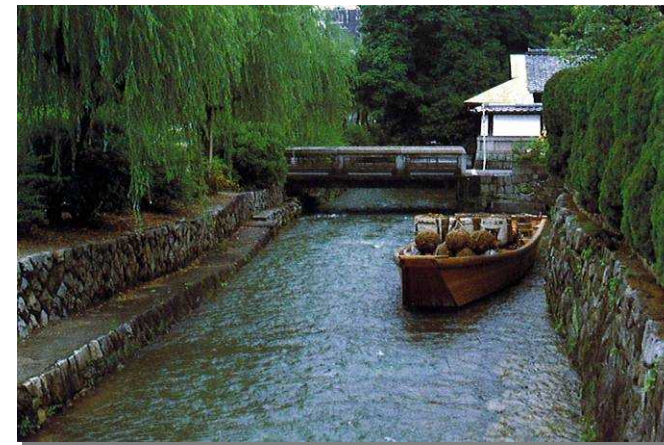
### 水辺の広場

- ・アメニティ軸の拠点として歩行者系動線のクロスポイントの親水空間
- ・坪井川の水辺と石垣を眺め潤いと歴史性を楽しむ水辺



### 水面の活用

- ・石塘堰の湛水期間中における市民等の船遊びも可能となる環境空間
- ・歴史資源を活かし、水辺の都市文化の再生



### 水辺の緑地

- ・白川橋上下流左岸高水敷について、年間を通して親しまれ利用される親水機能を持った水辺空間

